Sanbe Field Museum News

さんべ発！

No.178　2023年5月号

島根県立三瓶自然館 ニュースレター

室ノ内池とズミの花

日を追うごとに三瓶山の緑が鮮やかになる初夏の頃、室ノ内ではサクラのようにも見える白い花が咲いていました。ズミの花です。

噴火口と考えられている室ノ内は峰に囲まれたくぼ地で、低い部分には室ノ内池という池があります。池があるくぼ地のために湿気がこもりやすいのでしょうか。歩くと空気がしっとり潤っているように感じ、足元にはコケが絨毯（じゅうたん）のように広がっている場所もあります。ズミはこのような湿気がある場所を好むようです。

ズミの花に誘われるように池に近づいてみると、岸辺に怪しい黒い影。おびただしい数の小さいオタマジャクシが集まっていました。このオタマジャクシは雪解け直後の室ノ内池に集まったヒキガエルの子。普段は森の中にいるヒキガエルが、この時だけは池に集まって産卵します。池で３ヶ月ほど過ごしたオタマジャクシは、６月には小さなカエルになって三瓶山の急斜面をよちよち登りはじめます。室ノ内の小さな命のドラマです。

ギフチョウ

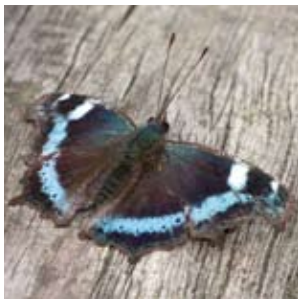
三瓶山で見られる春のチョウ

春になると、三瓶山にもさまざまなチョウたちが姿を現します。成虫で越冬したアカタテハやルリタテハ、ヒオドシチョウ、テングチョウたちは、いち早く姿を見せるチョウたちです。これらのチョウは冬の間、森の中でじっと風雪を避け過ごしていました。朝夕の気温が低い時間帯には、日当たりの良い地面で翅（はね）を広げ、日光浴をしている姿が見られます。

草原に多くの花が咲き始めると、ベニシジミやルリシジミ、キタキチョウ、キアゲハが盛んに飛び回るようになります。林内の花ではミヤマセセリやコミスジ、サカハチチョウも見られるかもしれません。サカハチチョウは春と夏の２回発生し、夏の個体の翅は全体が黒っぽい色ですが、春に出現する個体はオレンジ色の模様が目立ち、まったく別のチョウのような翅をしています。
さまざまなチョウが見られる中で、春を代表するチョウと言えば、やはりギフチョウでしょう。

このチョウは、最初に岐阜県産の個体を元に記載されたことからその名が付きました。翅の模様はアゲハチョウに似ていますが一回り小さく、春にのみ見られるチョウで、雑木林に暮らしています。日本固有種で本州にのみ分布し、主に林内で見られますが、必ず出会えるわけではありません。飛んでいるときの動きは素早いため、地面で翅を広げ日向ぼっこをしていたり、花で吸蜜しているときが観察のチャンスです。ギフチョウに近縁な仲間であるウスバシロチョウも春だけ姿を現し、日当たりの良い林縁で活動するチョウです。

５月下旬にはアサギマダラに出会うこともあります。三瓶山へはより南方から北上して飛来すると考えられ、男三瓶山頂にも飛んできます。海を越え長距離を渡ることができるチョウとしても知られ、大きな翅でフワフワと優雅に舞うように飛ぶ姿が印象的です。
穏やかに晴れた日が、チョウと出会う最適な天候です。草原や日差しの差し込む林の中で、チョウの姿を探してみましょう。


ルリタテハ

ウスバシロチョウ

キタキチョウ

テングチョウ

ベニシジミ

ルリシジミ

サカハチチョウ

アサギマダラ

みんなでさわろう♪

わくわくワゴン定期開催中！

令和２年からはじまった、三瓶自然館インタープリター（ボランティアスタッフ）によるイベント「みんなでさわろう♪わくわくワゴン」が定期開催されるようになりました。

「わくわくワゴン」に出会えるのは、毎月第４日曜日の午後。新館４階の北の原草原への出入り口に近い展示室の一角で開催します。どんなプログラムに会えるかは、来館してのお楽しみです。展示室ではさわることができない標本も、このプログラムではタッチＯＫのものもあります。生き物大好きな人は、とくに必見。ぜひ、お越し下さい。

〇プログラム

・テンピーと北の原のなかまたち
・さんべで出会えるかもしれない動物たち
・この葉なんの木
・チョウとガのちがい
・原っぱで牛のうんちを食べる虫たち

〇開催日

毎週第4日曜日の午後

〇場　所

三瓶自然館新館4階展示室（冬期は本館1階展示室）

EVENT GUIDE

6月-7月のイベント

さんべの森たんけいたい ～初夏の森であそぼう～	6/4 日 9:30~14:00	キイチゴを摘んでジャムを作り、簡単なパンを作って参加者で試食します。	定員：親子8組 料金：大人300円 小人100円	要予約 幼児、小学生とその家族対象
親子で作ろう工作教室 森のキツツキ	6/4 日 13:00～14:30	キツツキが木をつつくような動作をするおもちゃをつくります。	定員：親子6組 料金：100円	要予約
サヒメルきっずサンデー	6/18 日 7/16 日	しまね家庭の日にあわせて、きっずプラネタリウム、デジタル紙芝居などお子様向けのイベントを実施。	定員：なし 料金：入館料 ※小中学生無料	
さわってみよう♪ わくわくワゴン	6/25 日 7/23 日	さわることができる標本を楽しいお話とともに紹介します。	定員：なし 料金：入館料	
月イチガク③ 大田の礎を築いた吉永藩 ～加藤家4代の栄光と浮沈の中で～	6/24 土 14:00~15:30	江戸時代前半にあった藩の施策がその後の大田市の産業や景観に深く根ざしていることを紹介します。	定員：20名 料金：大人300円 小人100円	要予約 ONLINE
親子で作ろう工作教室 葉脈の見えるしおり	7/9 日 13:00~14:30	ヒイラギの葉の葉脈を取り出して、しおりを作ります。	定員：親子6組 料金：100円	要予約
夏の夜の昆虫観察	7/22 土 19:00~21:00	トラップをつかって虫を集めたり、森の中を歩いて、夜の三瓶山で活動する昆虫たちを観察します。	定員：30名 料金：100円	要予約
月イチガク④/ジュニア 火山じっけん教室2	7/22 土 14:00~15:30	火山噴出物の実物の観察と、簡単な実験により噴火メカニズムを楽しく学びます。	定員：20名 料金：大人300円 小人100円	要予約 三瓶青少年交流の家で開催します
親子で作ろう工作教室 木　琴	7/23 日 13:00~14:30	すのこを利用して木琴を作り、木の暖かい音色を楽しみましょう。	定員：親子6組 料金：100円	要予約
小さな宝石探し （火山灰の観察）	7/30 日 10:00~11:00 14:00~15:00	三瓶山をはじめとする火山噴出物に含まれる、小さくも美しい鉱物を実体顕微鏡で観察しましょう。	定員：各回20名 料金：100円	要予約 保護者同伴者可 小学生3年~6年生向け

北の原キャンプ場
SNSフォロワーキャンペーン

キャンプ場公式ＳＮＳのいずれかをフォローしている利用（宿泊）者へオリジナルステッカーをプレゼント！
期間:7月～9月 / 場所:北の原キャンプ場受付

要予約 このマークがあるイベントは、1ヶ月前から実施する施設ごとに予約を受付します。天体観察会はホームページから、その他はお電話で。

三瓶自然館：0854-86-0500　三瓶小豆原埋没林公園：0854-86-9500（さんべ縄文の森ミュージアム）　三瓶山北の原キャンプ場：0854-86-0152

※イベントが変更、中止の場合はHP等でお知らせします。また、毎週土曜日の天体観察会は予約制で実施しています。
※4～11月の毎週土曜日の「北の原お散歩ツアー」、毎週土、日曜日と祝日の「天文ミニガイド」は、入館された方を対象に予約不要で開催しています。

島根県立三瓶自然館サヒメル

〇開館時間/9:30～17:00
〇休館日/毎週火曜日
（火曜日が祝日の場合は翌平日）
年末年始、その他、メンテナンス休館あり

三瓶フィールドミュージアムニュース ＜隔月発行＞
編集・発行 公益財団法人しまね自然と環境財団
〒694-0003　島根県大田市三瓶町多根1121-8
TEL 0854-86-0500/FAX 0854-86-0501
＜エコサポしまね＞〒690-0887　島根県松江市殿町8-3　TEL 0852-67-3262
しまね自然と環境財団は、三瓶自然館等の指定管理者です。
エコサポしまね（松江事務所）では、地球温暖化対策等の事業を行っています。